

REFEREE NEWS



公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

April 2026

年4回WEB発行(1, 4, 7, 10月)

審判委員会トップページへはこちらから →



～新年度のご挨拶～

「誇り、信頼、そして進化。千葉県から世界へ繋がるレフェリングの構築」

(公社)千葉県サッカー協会 審判委員会 委員長 堀川栄多

千葉県のフットボールシーンを支える審判員の皆様、新年度の幕開けに際して謹んでご挨拶申し上げます。昨年度、県内のあらゆるピッチで繰り広げられた熱戦を、揺るぎない責任感と情熱で支えてくださった皆様に、心より敬意と感謝を表します。サッカー競技における「安全」「公平・平等」「喜び」は、我々審判員の的確な判断へ向けた最善の努力と、競技者と審判員相互の深いリスペクトがあって初めて成立するものです。

本年度、審判委員会は、「千葉県サッカーアクションプラン(2024-2028)」の達成に向けて、重要なステップへと踏み出します。私たちが目指すのは、単なるルールの適用者ではなく、ゲームの質を高める「プロフェッショナル」としての集団です。

本年度の活動にあたり、以下の3つの柱を基本理念として掲げます。

1. **高い基準(High Standard)** : 県内トップからグラスルーツまで、一貫した高い基準の判定を 提供する。
2. **包摂性(Inclusion)** : ユース、女子、シニアなど、あらゆる層が審判活動を楽しめる環境を創出する。
3. **連帯(Solidarity)** : 種別や地域を越えて、千葉県が一丸となって審判員の育成と保護に取り組む。

「審判が変われば、サッカーが変わる」という気概を持って、共に新しいシーズンを歩み始めましょう。

千葉県サッカーアクションプラン(2024-2028)の重点施策を詳説します。本アクションプランは、以下(目次の後)に示す三本柱のもと目指すべき方向性と具体的な施策を2024年にまとめたものです。



目次

審判委員長 新年度のご挨拶	P1~3	登録部からのお知らせ・ 割当部からのお知らせ	P22
2026年度 審判委員会役員紹介	P4	総務部からのお知らせ	P23
U-13ユースサッカー選手権大会決勝	P5~8	審判員関係者対象の傷害保険について	P24~25
U-12チバテレ旗サッカー選手権大会決勝	P9~12	功労表彰者の紹介	P25
地域で頑張っています！ ～千葉県民スポーツ大会サッカー競技～	P12~14	レフェリースクール開催しました	P26~27
昇級・認定審査合格者のお知らせ	P15~16	全日本U-12サッカー選手権大会報告	P28~29
3級インストラクター養成講習会の進め方	P17~18	関東フットサル2部優秀レフェリー表彰 フットサル強化研修会報告	P30
インストラクターの魅力②	P19~20	全日本ビーチサッカー大会報告	P31~32
サッカー、フットサル4級新規取得講習会・ フットサル各種講習会のお知らせ	P21	編集後記	P33

I. 次世代を担うレフェリーの育成・強化

千葉県からJリーグ、そして国際舞台へと羽ばたく人材を継続的に輩出するため、以下の施策を強化します。

1. 世界基準の審判員輩出に向けた育成・強化

- トップレフェリー・スカウティング：県内のポテンシャルの高い審判員を早期発掘し、JFA や KTFA アカデミーに通じるセミナーを通じて高度なフィードバックを実施します。
- 実戦的トレーニングの提供：映像分析やフィジカルトレーニングの導入により、判定精度と一貫性を高めます。

2. 審判員の普及推進（be a referee! 開催）

- 新規取得の促進：未経験者が審判の門を叩きやすいよう、体験型イベント「be a referee!」を開催します。
- 継続率の向上：資格取得後のフォローアップを充実させ、ビギナー審判員が孤立しない体制を整えます。

3. ユース審判員・女子審判員の普及推進

- ユース層へのアプローチ：現役選手が審判資格を取得することで、競技理解を深めると同時に、将来の審判員候補としてのキャリア形成を支援します。
- 女子審判員の環境整備：女子サッカーの発展に合わせ、女性審判員が安心して活動できる更なる環境構築と、ロールモデルの提示を行います。

4. アカデミー活動の促進と昇級審査の見直し

- 千葉審判アカデミーの活性化：体系的な教育カリキュラムを運用し、知識・技術・人間性を兼ね備えた審判員を育てます。
- 審査プロセスの透明化：県内サッカーの競技レベルに対応した割り当てを行い、適切なゲームを審査に設定することで、納得感のある昇級審査を実施します。

II. 指導体制の専門化と組織基盤の確立

審判員の成長を支える「指導の質」と、活動を支える「組織の力」を抜本的に強化します。

5. インストラクターの技能向上と指導機会の創出

- 指導者養成講習会の刷新：インストラクターに対しても最新の競技規則解釈と、効果的なコーチング技術の修得を義務付けます。
- 活動機会の増大：各大会におけるアセッサー派遣を増やし、審判員が常に適切なアドバイスを受けられる機会を確保します。

6. インストラクターの専任化とダイレクター（エデュケーター）の配置

- 専門組織の構築：教育を専門に担う「審判エデュケーター（ダイレクター）」を配置し、県内全域で教育の質を均一化します。
- 専任制度の検討：特定のカテゴリーに特化した専任インストラクターを配置し、より専門的で継続的な指導を実現します。

7. 組織運営力の強化

- 専任事務職の配置：審判委員会の事務負担を軽減し、戦略的な運営に集中できるよう、専任スタッフの確保と人員補充を目指します。
- デジタル化の推進：登録・派遣・報告業務のIT化を進め、審判員・指導者双方の利便性を向上させます。

8. ネットワークの構築

- 郡市協会・種別・専門委員会との連携：現場の声を吸い上げ、課題を共有するための巡回指導を開催します。
- 横断的協力体制：第1種から第4種、女子、フットサルまで、種別を超えた審判員の相互派遣や協力体制を強化します。

Ⅲ. 外部連携と持続可能な活動環境

9. JFA、KTFA、他FAとの連携強化

- 情報の即時共有：JFA（日本サッカー協会）やKTFA（関東サッカー協会）の最新指針を迅速に県内へ浸透させます。
- 広域連携の推進：近隣FAとの合同研修会や交換派遣を行い、異なる環境での経験を通じて審判員の適応力を養います。

結びに代えて

審判員一人ひとりが「千葉県の代表であり1つのチーム」であるという自覚を持ち、誠実な判定を積み重ねることが、千葉県サッカーの価値を高める唯一の道です。委員会は、皆様が安心してピッチに立てるよう、全力でバックアップすることをお約束します。本年度も、熱き情熱を持って共に闘いましょう。



2026年度のレフェリーニュースWEB発行について



- 当委員会で発行しているレフェリーニュースは現在、4月号・7月号・10月号・翌1月号の年4回発行しております。
- 今年度(2026年度)のレフェリーニュースの発行は、これまでと同様に4月号・7月号・10月号・翌1月号の全てが審判委員会のホームページへの掲載のみとなります。(WEB発行のみ)
- 重要なお知らせ(更新講習会情報等)を掲載した場合はKICK OFFからのメール等を使用してその都度、お知らせする予定です。
- 今後も皆様に講習会情報等の有用な情報を迅速にお伝え出来るように努めて参りますので、何卒、宜しくお願い申し上げます。



～ 2026年度 審判委員会 役員紹介 ～

委員長	副委員長
堀川 栄多	五十嵐 泰之 大川 直也 千葉 恵美 村上 匡

部署と主な業務内容	部長	副部長	メンバー(順不同)
サッカー統括部 ～派遣審判員の 카테고리 検討や、アセッサー派遣を行います～	村上 匡		五十嵐 泰之 牛尾 眞一郎 河合 英治 曾我 文宏 千葉 恵美 堀川 栄多
全体サポート ～各部の事業をサポートします～			浅田 武士 大川 直也 金次 雄之介 菊池 俊吾 桜井 大介 清水 勇人 先立 圭吾 瀬田 貴仁 原田 雅士
登録部 ～新規/更新講習会やサッカー3級昇級審査の運営を行います～	安藤 学	実方 洋一	入江 夕梨花 稲葉 太郎 石垣 雄市 奥間 崇広 高須賀 清司 都間 雅彦 松岡 恵美子 真殿 定幸 山下 良之 矢作 政美
普及育成部 ～審判員育成のための研修会を行います～			五十嵐 泰之
強化部 ～強化審判員の指導を行います～	村上 匡	村上 勝則	石原 美彦
女子部 ～女性審判員の発掘、育成、指導を行います～	千葉 恵美		池田 朋代 上田 千尋 宍浦 智子 染井 真美子 彦坂 由樹子 松岡 恵美子
フットサル&ビーチサッカー部 ～フットサルやビーチサッカーに関する事全般を担当します～			木村 拓
指導者部 ～インストラクターの育成、講習会等への派遣を行います～	牛尾 眞一郎	エドゥケーター	石垣 雄市 小栗山 浩史 宍浦 智子 千葉 恵美 袴田 倫 松川 将久 村上 勝則
		河合 英治	
割当部 ～試合に派遣する審判の割当業務を行います～	曾我 文宏		池田 朋代 清水 賢一郎 長谷川 鉄哉
財務部 ～審判委員会の予算管理を行います～	櫻田 雅裕		
総務部 ～広報、保険、その他ほかの部に属さない業務を行います～	長谷川 鉄哉		長田 晃 金子 秀之 高野 祐介 田口 雄一 中山 達良
レフェリーアカデミー ～若手審判員の育成・強化を行います～			小栗山 浩史

※審判委員会の業務について問い合わせ: 総務部メール cfarc.somu@gmail.com

令和7年度 第29回千葉県ユース(U-13)サッカー選手権大会決勝戦

2026年2月23日(月・祝) 10:00キックオフ 八幡球技場

VITTORIAS FC 0(0-0、0-0、延長戦0-0、0-0、PK戦2-4)0 ACカラクテル

R:金坂 健汰氏、AR1:松井 誉啓氏、AR2:小松 駿太朗氏、4th:渡邊 洋氏(文中敬称略)

3種のU-13年代最高の舞台である「千葉県ユース(U-13)選手権」の決勝戦を終えた審判団にインタビューを行いました。



(左から 松井さん、金坂さん、渡邊さん、小松さん)

入場シーン&セレモニー&コイントス&表彰式の様子 (2029年6月30日まで掲載)

※下記リンクをクリックすると「不明なエラーが発生しました」と表示が出る事がありますが、その後、映像が再生されます。

[入場シーン.MP4](#)

[セレモニー.MP4](#)

[コイントス.MP4](#)

[表彰式.MP4](#)

Q : 風が強く、レフェリングにも気を使ったと思いますが、決勝戦を振り返って感想をお願いします。楽しめましたか？

金坂 : PK戦にまでもつれ込む接戦でしたが、大きな判定のエラーもなく最後まで4人で楽しむことができ、無事終わることができて良かったです。

松井 : 両チームともすごく頑張っていて良い試合をしており、自分としても試合中は気を引き締めて判定しようと心がけながら楽しんで出来ました。普段から接点のある審判員達でしたので、リラックスしてすごくやりやすかったです。

小松 : 会場を間違え試合前は焦りに焦りましたが(笑)、楽しむことが出来ました！割当頂きありがとうございます！



渡邊：決勝戦という大事な試合に参加させて頂きましてありがとうございます。あまりやった事のない第4の審判員で多少あたふたする場面もありましたが、とても貴重な経験になりました。

Q：レフェリーに熱心に取り組むきっかけは？

金坂：私は、選手の時に立つことができなかつた大きなスタジアムに立ちたい！と思い、レフェリーを目指しました。

松井：審判で上のカテゴリーにいきたいからですかね！？どんどん若い審判員が増えているので、負けられないなと思って日々色々なことに取り組んでいます。目標はワールドカップ！なんてことを高校生の時から自分で言っているのです、その目標を叶えられるように頑張っていきたいです。

小松：高校まで10年プレーし、新しい形でサッカーに関わりたいと思い、レフェリーを本格的に始めようと思ったのがきっかけです！



Q：近年、U-13選手権の決勝戦は若い審判員が担当する事が多いですが、オファーが来た時の気持ちは？特に小松さんは昨年続き2回目、前回との違いは？

金坂：率直にうれしかったです！（笑）。また、決勝戦の主審をやるのが初めてだったので、良い準備をして臨もうと考えていました。

松井：正直なところ、割当が来た時はいつもと変わらず承諾した覚えがあります（笑）。会場に到着して決勝なのだ！と知ったのですが、あまり緊張することがないので、いつも通りベストパフォーマンスを出せたと思います。

小松：2年連続で割当頂き、嬉しかったです。去年はまだ審判を始めて半年程でしたが、今年は多くの試合を経験したので、主審を見ながらなど、落ち着いてレフェリング出来ました！



Q：渡邊さん、若い審判員に囲まれて、審判チームとしてはいかがでしたか？

渡邊：皆さんとても落ち着いていて、私にも気を使って頂きまして（笑）、チームワークよくできました。

Q：また、第4審判として上手くいったところと、上手くいかなかったところは？

渡邊：両チームともベンチも協力的でスムーズに試合が進み、主審の金坂さんとのアディショナルタイムの確認等も円滑にできたのですが、交代の時に少しもたつきました。

Q：松井さんと小松さんは大学生、その他は社会人として、仕事や学業と審判活動とをどう両立されていますか？

金坂：まずは仕事をしっかりやり、仕事後に審判の為の時間を取るようになっています。仕事後だと疲れていてやりたくないという気持ちになることもありますが、「選手の為に！」という気持ちをもってトレーニングに励んでいます。

松井：基本的には審判活動を生活の中心にして考えています。試合と被らないよう授業の時間割を調整したり、授業数を少し減らしたりしています。去年から平日も試合が入ってくるが増えたので、大学の教授に説明して公欠にしてもらっています。周りからはほんとは大学生なのだからもっと遊びなさい！とか心配してくれる人もいますので、審判活動だけにならないように気を付けます（笑）。



小松：比較的時間ががあるので、平日は授業を受けて、授業後はアルバイトかトレーニングを行っています。大学に無料のジムもあって、すごく活用しています。

渡邊：私は基本的に土日が休みなので、休みの日は主に審判活動をしていまして、平日は仕事中でもできるだけ多く歩いたりしまして体調管理を心掛けています。

Q：県内の若いレフェリーに伝えたい事やメッセージがありましたらお願いします。

金坂：コツコツやっていけば、必ずチャンスが来ると思いますので、一緒に頑張りましょう。よろしくお願いします！

松井：そうですね。一番伝えたいのはチャレンジしてたくさん失敗してください(笑)。自分は今年21歳で審判歴が7年目とかになるのですが、今まで成功した数より失敗した数の方が圧倒的に多いです。最初なんて動きも分からなければ、判定も一貫せず、監督たちから怒られたこともあります。今振り返れば良い経験だったなど。その時に何が違うのだろうと考えて行動してみてください。その結果が成功すれば自分の武器になるし、失敗すればまた成功にむけて行動すればいい。繰り返していけばきっと審判員として成長していると思います。

色々な上のカテゴリーの話を聞くのもいいですが、「百聞は一行動に如かず」です。特に試合中は足を動かすのも大事ですが、頭(思考)も使い続けてください。何を言っているか分からなければいつでも聞いてください。一緒に審判活動頑張っていきましょう！

小松：試合前日にはkickoffを見直すのと、大学生は誘惑が多いですが、どれだけ自分を律することが出来るかが大事だと最近痛感しているので、スティックにやっつけていしましょ！！



Q : 最後に今後の抱負をお願いします。

金坂 : まずは仕事をしっかりやって、その次に引き続き千葉県サッカー発展のために頑張りたいです。また、関東Z群カテゴリーの活動が始まるので、他の都県の審判員に負けないように引き続きコツコツ努力していきたいです。

松井 : 目の前の1試合を大事にしていきたいですかね。去年はチャレンジすることを怖がっていましたが審判活動に対する熱が冷めてしまっていた気がします。もっと審判活動を大事にしてハングリー精神で頑張っていきたいですね。まだまだ審判として人として未熟ですし、これといった強みが見つかっていないので、自分なりのレフェリー像を見つけられるよう今年はもがき苦しんでいきたいと思います。

小松 : 2級に昇級すること、yoyoテスト55本以上！

渡邊 : 怪我などには充分注意して、もっといろいろな経験を積み、上のカテゴリーを目指したいと思います！



みなさま、お疲れ様でした！

2025年度 第48回チバテレ旗争奪千葉県(U-12)サッカー選手権大会 決勝戦

2026年2月22日(日)13:30キックオフ NIPPON STEEL陸上競技場
船橋フットボールクラブ 3 (2-1,0-1, ex1-0, 0-0) 2 FCラルクヴェール千葉G
R:真殿 定幸氏、AR1:愛宕 弘幸氏、AR2:小島 康夫氏、4th:嶋 義二氏(文中敬称略)

4種のU-12年代最高の舞台である「チバテレ旗大会」の決勝戦を終えた審判団にインタビューを行いました。



(左から 小島さん、愛宕さん、真殿さん、嶋さん)

Q : 季節外れの暖かさの中、お疲れさまでした。決勝戦を終えての感想をお願いいたします。

真殿 : 選手の皆さんが最後まで試合に集中し、他の審判員にご協力いただき、無事に終えることができてよかったと思います。このような貴重な経験をさせていただき、4種委員会の皆さんに感謝申し上げます

愛宕 : まずは無事に試合を終えられたことにホッとしています。選手たちの試合に懸ける熱気に負けないよう、冷静で公平なジャッジができるように試合に臨みました。素晴らしい緊張感の中でフラッグを持たせたことを光栄に思います。

小島 : 11月から膝を痛めていたのですが、必死のリハビリで何とか間に合せて全力疾走することができたので、ホッとしています。4種の最高レベルでの試合で審判を行うことができ、自分らしく楽しくレフェリングをすることができました。

主審がいつも一緒に審判をしている真殿さんということも安心してレフェリングができた要因だと思います(笑)。

嶋 : まずは準決勝の主審を前後半しっかり走りぬき、また選手も怪我無くゲームセットの笛を吹き、大役を果たせた事で、決勝の4審に心の余裕をもって臨めた事でより満足感を達成できました。



Q : 延長戦まで勝敗が決まらない激しい試合でしたが、レフェリーとして気を付けていた事は?

真殿 : 延長戦となったときはPK戦まで覚悟しましたが、とにかく最後まで選手の皆さんが精一杯パフォーマンスが発揮できるよう、ゲームコントロールすることを心がけました。



愛宕 : 延長戦に入ると選手の疲労もピークに達し、一瞬の判断が勝敗を左右します。副審として特に意識したのは、「集中力の維持」と「主審との連動」です。

オフサイドラインを見極めるためのスプリントを怠らないこと。

主審が見えにくいエリアの事象を確実にサポートし、選手が最後まで納得してプレーできるように努めました。

小島 : 正直、延長戦は想定していませんでしたが、最後まで集中を切らさないよう意識していました。延長戦になった瞬間にPK戦も想定しましたが、そこまで行かなくて良かったです。(笑)

試合を通じては、一つ一つのジャッジを丁寧に行うことを意識していました。

嶋 : 1点の重みが時間が過ぎるごとに大きくなった事で、4審としても一瞬たりとも展開を見逃さないよう気を配りました。

Q : 4種の特に8人制の試合を担当する時に心がけていることがありましたら教えてください

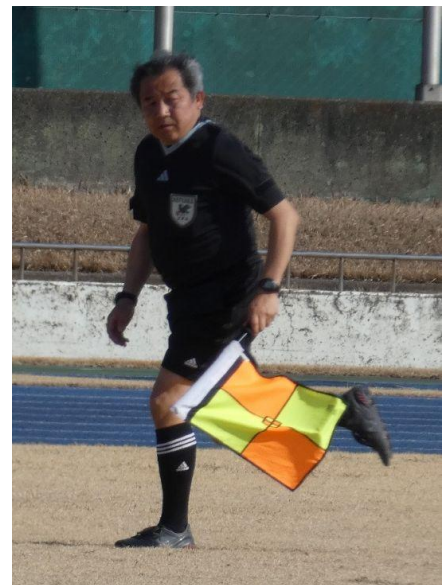
真殿 : 攻守の切り替わりが激しく、得点シーンも多くなります。ミスキックや思いもよらない方へパスを出したりと、予測できないことがよく起きるので、すぐに対応できるよう心がけるようにしています。

愛宕 : 8人制は展開が非常に速く、ゴール前のシーンも多いため、「予測」を大事にしています。また、育成年代の審判として、単にジャッジを下すだけでなく、選手たちがルールを学び、気持ちよくプレーできるようなポジティブな関わりを意識しています。選手のひたむきなプレーを尊重する姿勢を忘れないようにしています。

小島 : 4種の場合、選手はルールを覚えている段階だと思うので、選手にルールを教える感覚でレフェリングをしています。

また、4種の場合には審判も経験の少ない人が多いので、その方々に少しでも参考にしていただけるよう意識してレフェリングをしています。

嶋 : 現在も1種・3種などで11人制の審判をする機会がままあるので、毎回8人制ルールを復習して臨みます。



Q : 皆さま今回が初めての決勝審判だと思いますが、オフア
ーを受けた時の気持ちは?また準備した事は?

真殿 : 長く4種に携わってきましたが、いつも3位決定戦担当だったので、決勝はもう担当しないものと思っていました。昨年フジパンカップやU-12リーグ千葉県準々決勝を担当させていただきましたが、いずれも1人審判だったので、一週間前に自身が所属している4種クラブの招待大会で初日の第一試合と決勝を担当させていただきました、4人制を経験してきました。

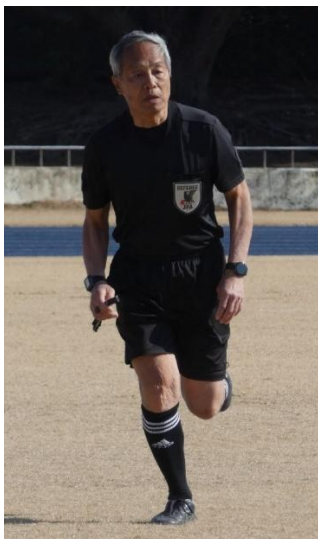
愛宕 : オファーをいただいた際は、身が引き締まる思いと同時に「自分に務まるだろうか?!」という緊張もありました。準備としては、まず体調管理と体力の向上です。決勝のスピード感に遅れないよう、走り込みを増やしました。また、競技規則を再確認したりと、自信を持ってピッチに立てるようメンタル面と知識面の両方を整えて臨みました。

小島 : 正直、自分で良いのか?!という気持ちもありましたが、このような経験は二度とできないと思うので、割り当てられた以上しっかりやらなければと思いました。

ですが、あまり意識すると失敗してしまうので、いつも通りレフェリングすることだけを考えていました。

嶋 : オファー頂いた瞬間は即答せず、周りにもっとふさわしい人材がいるのでは! ?とお答えしたが、最終的に70歳の区切りにせつかくチャンスを頂いたなら、チャレンジしてみたい! という思いが勝りました。とは言え、

市川市サッカー協会4種委員会役員であり、審判委員会副委員長を拝命している立場で、4種の実働機会がこしばらくなかったので、当日まで極力4種練習試合や招待試合等で勤をもちょうにしました。



Q : 永く審判を続けていくために心がけていること、また辞められない審判の魅力とは？

真殿 : 何事も継続は力なり。審判を通じてたくさんの審判仲間に出会えたこと。審判のみならず、選手・監督/コーチ・ご父兄等、審判をしていなければお目にかかっていなかったであろう方々と知り合いになれることも魅力の一つだと思います。魅力がなければこんなに長く続けていませんよね！

愛宕 : 心がけているのは、「常に学び続ける姿勢」と「健康な身体作り」です。特に一昨年のアキレス腱断裂からの復帰からスプリントスピードも持久力も落ちているので、再発防止に注意しながらリハビリに努めています。

審判の魅力は、なんといっても「特等席でサッカーの感動を味わえること」。選手と同じ緊張感を共有し、フェアな試合を作り上げた後に感じる達成感は、審判にしか味わえません。素晴らしいプレーを目の当たりにすると、「またこの舞台に立ちたい」と強く思いますね！

小島 : 特に心がけていることはありませんが、今回の決勝戦のように選手と良い試合を作ることができた時の達成感や、試合中正しくジャッジができたときの爽快感を繰り返し経験したいと思っていますので、楽しく審判ができる間は続けていきたいと思っています。

嶋 : やはり体調管理には気を付け、適度な運動は今でも行っています。

審判の魅力は・・・

年齢の離れた選手や、一緒に組んだ他の審判員とゲーム中は歳を忘れ同じ感覚にひたれる事でしょうか。



Q : 最後に今後の抱負を教えてください

真殿 : 身体が動く限りは細々とも審判を継続したいと思います。これまでお世話になった千葉県協会や浦安市サッカー協会に少しでも恩返しできるよう、審判の育成や指導にも一層力を注いでいければ！と考えています。

愛宕 : 今回の決勝戦で得た経験を糧に、さらに上のレベルを目指してトレーニングを積んでいきたいです。一つひとつの判定の精度を高めることはもちろん、選手や指導者の皆様から信頼される審判員になれるよう、これからも真摯にサッカーに向き合っていきたいと思っています。

小島 : 審判を取得して30年以上(3級取得後20年以上)経っているので、その経験を地元の方々に伝えていければ！と思っています。自分でもまだできていると思っていますので、今後も楽しんで審判活動を行ってきたいと思っています。

嶋： 現在も私が代表をやっていた地元4種チームに係わっている事もあり、自チームのみならず、他チームの指導者の皆さんがもっと審判にも興味を持ってもらえるよう、今後も地道な活動を行っていききたいと思います



みなさま、お疲れ様でした！



今日も地域で頑張っています！！

～いつも各地の大会会場で頑張って審判している方々を紹介します～

2026年1月24日(土)

千葉県民スポーツ大会サッカー競技

～市原スポレクパーク～



千葉県内では様々な大会が開催されていますが、そこで日頃から活躍している審判の方々にスポットを当てて取材しました。今回は千葉県大会を使った研修に参加して頑張っている皆さまにインタビューをしました。

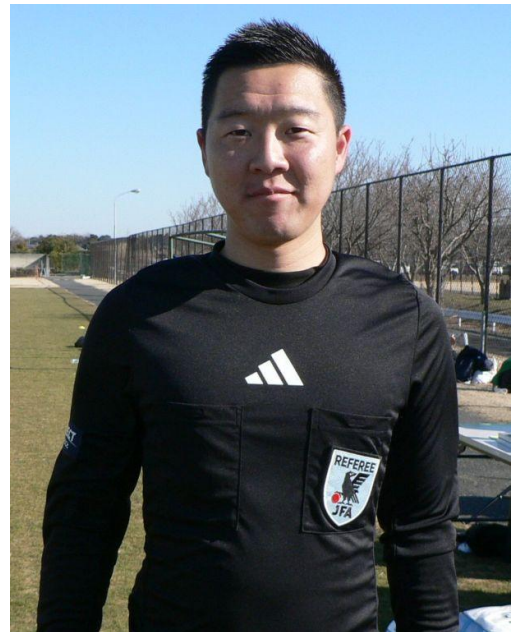
- | | | |
|-------------------|--------------------------|----------------|
| ①：氏名(敬称略) | ②：審判歴 | ③：審判になったきっかけは？ |
| ④：審判活動で印象に残っていること | ⑤：これだから審判は辞められない審判の魅力とは？ | |

- ①：佐藤 択哉(さとう たくや)
 ②：今シーズンで12年目です。
 ③：大学で所属していたチームが都学連に所属しており、帯同審判員が必要だったので資格を取得しました。大学4年の時に就活を終えてチームに復帰したのですが、試合に出る予定もそれほどなく、チームの仕事の一つとして帯同審判員を始めたのがきっかけです。



- ④：初めて主審を担当した大学の新人戦です。まったくファウルを取れなかったのか、審判が必要ないほどクリーンなゲームだったのか、今となってはわかりませんが、主審って難しいのだなと感じたのは鮮明に覚えています。
- ⑤：週末の試合に向けて逆算してトレーニングや食事のことを考えながら毎日を過ごす機会を得られるので、おかげさまで心身ともに健康な生活を送れていますし、サッカーを楽しむ人々の役にも立つことができ、さらに人間関係も広がるのでやめられません！

- ①：西林 悠樹(にしばやし ゆうき)
- ②：高1で4級、高3で3級を取りましたので、取得からは16年になりますが、4種や市リーグなどで細々と続けていたので、経験はあまり多くありません。2024年度より県協会より割当を頂くようになりました！
- ③：高校の部活で審判が必要になり、取ったことがきっかけです。選手と違った楽しさもあり、続けられていました。その後1つ上の先輩の3級審判員の薦めで、高3のときに3級を取得しました！
- ④：割当をいただき始めた初年度に担当した、U-18 1部リーグの副審が今でも深く印象に残っています。今まで4種や市リーグしか担当したことがなかったため、高校生のスピード感やパワーに圧倒され、ラインキープもやっとなったのを覚えています。過剰に緊張していたのか、翌日筋肉痛でした(笑)。このレベルでいつか笛をふけるようになりたい！と強く思ったきっかけにもなりました。
- ⑤：未熟なこともあり、メンタルも強くないので、大変な試合を経験したあとは「しばらく割当控えようかな!？」と思ったことが何十回もあります(笑)。でもそのあとの試合では上手くできました！と感じたことも多くて、その達成感から今でも続けられています！慎重派な自分なので、地道に経験して、時にはメンタル壊されながらも、負けずに這い上がっていけるように頑張りたいと思います！



- ①：小松 駿太郎(こまつ しゅんたろう)
- ②：約2年(2024年4月～)
- ③：大学のサークルを辞めて、10年間プレーしてきたサッカーに新しい形で関わりたいと思い、始めました！
- ④：沢山ありすぎて…笑笑。一番は昨年8月に参加したIFAの研修会ですかね。普段担当出来ないカテゴリーの試合を吹くだけでなく、1級候補の方のレフェリングを見ることができたのは大変学びになりました。また、「人」の良さも3日間で凄く感じ、パーソナリティも磨かなければ…っ、！と思いました(笑)。
- ⑤：自分が磨いたスキルの分だけ、より高いカテゴリーの試合を担当できて、それを誰よりも近い距離で、しかも試合を一緒に創りあげる一員として体感できる喜びは他では味わえない魅力かなーと思います！この成長の循環と、圧倒的な臨場感が、私の原動力になっています(笑)。

- ① : 内浜 一也(うちはま かずや)
- ② : 約12年です。
- ③ : 子供のジュニアの街クラブ加入に伴い学年にコーチ着任したこと。
- ④ : ここで伝えるのは適切ではないかもしれませんが…中体連のレフェリーを担当し始めて間もない頃、試合中に選手から「○ね！」と言われたことはいまだに忘れられません。

衝撃過ぎてレッドカードを出すこともできずしばらくトラウマになりましたが、このことがきっかけで選手の全力プレーを引き立てて勝っても負けてもいい試合だったと思えるようにレフェリングを向上しなきゃいけないと考えるようになったターニングポイントなのは間違いありません。

- ⑤ : コーチとして関わってきたジュニア年代の選手達とジュニアユースから社会人までサッカーを続けてくれている限り、同じピッチで一緒にプレーできるのは唯一審判だけ。みんなの全力プレーや成長を審判員として一番の特等席で見届けることができるのが本当に幸せと感じるからやめられないし、試合に負けて悔しいはずの選手やコーチからも「ナイスジャッジ」・「ありがとう」と笑顔で言ってもらえる機会が増えるに連れて喜びを感じます。

だからこそ、自らのパフォーマンスを最大限発揮して、もっとレフェリングスキルを高めて、どんなカテゴリーでも担当する試合でナイスプレーをたくさん演出できるようになりたいと考えて日々チャレンジしています。私は公私問わず誰かの役にたてることをやりたいと常に考えて日々取り組んでいます。審判はまさに選手の皆さんがサッカーを楽しんでもらえるように引き立てる役割。これが最高の魅力なのだと思います。



- ① : 富田 雅也(とみた まさや)
- ② : 約8年です。
- ③ : 息子が所属していたチームで審判をやらせて頂いたのがきっかけです。
- ④ : 80分の試合を2試合連続で担当した時に1試合目の終わりに足がつってしまい、交代する人もいなかったため、痛みが残る中、2試合目を何とか走り切って頑張ったことです。(あの時はホント辛かったです)
- ⑤ : 様々なカテゴリーの試合を間近で観ることができることや、選手の動きを予測しながら自分が次どのように動くべきかを考えることでしようか。



「地域で頑張っている」レフェリーを取材に行きます！

千葉県内の様々な地域で色々な大会が行われて、そこで頑張って活動しているレフェリーを取材に行きます。例えば、4種の各ブロックが主催する大会で主管部から指定された方々、各市の審判部会から派遣された方々、地域やチームの招待試合において数名で審判を担当する方々など、また「こんな名物審判がいる！」など、紹介したいレフェリーなど情報をいただければ、総務部が取材に行きます。

情報を以下でメールしてください。(大会名、日にち、時間、レフェリーの人数等)お待ちしております。

メールアドレス: cfarc.somu@gmail.com

昇級・認定おめでとうございます！

昇級審査合格者のお知らせ

【サッカー3級昇級者・二種主催】(順不同、敬称略)

石塚 歩成	糸井 蓮	小川 棕立	小栗山 浩人	影山 大士	加藤 歩実
佐久間 舜介	竹内 蒼	永井 雄規	夏苺 旺志	林 虎太郎	廣森 瑛太

【インストラクター3級認定】(順不同、敬称略)

浅賀 達也	粟屋 英正	猪熊 香織	池田 朋代	市ノ瀬 勝治	大崎 亮司
小倉 敬右	加藤 源一	門脇 達也	喜瀬 敦	梶 陽介	郡司 裕右
佐藤 択哉	曾我 文宏	染田 洋	高津 浩司	高野 祐介	武田 雄哉
津田 慎太郎	徳岡 隆弘	樋口 雅彦	森崎 和廣	吉川 智也	齋藤 義之
鈴木 悠介					

インストラクター3級認定者よりコメント

大崎 亮司(おおさき りょうじ)

この度、サッカー3級審判インストラクターに認定していただきました大崎亮司です。

私は現在、千葉県4種の審判部として活動しており、その中で地域で日々尽力されているレフェリーの皆さんと接する機会が多く、「より良いサポートができる体制を整えたい！」と強く感じたことが、今回インストラクターを志した原点です。

また、私自身は普段、アセッサーの方に評価をいただくような高いカテゴリーで笛を吹いているわけではありません。だからこそ、インストラクターの視点を学ぶことで、自分自身のレフェリングを客観的に振り返り、さらなるスキルアップに繋がれるのではないかと考えました。

講習会で学んだアセスメントのポイントは非常に奥が深く、現在はその理解を深めるため、ユース審判員として活動している息子の試合を「教材」に、こっそり評価の練習をさせてもらっています。

今後は千葉県サッカーの発展に微力ながら携われるよう引き続き努力して参ります。



郡司 裕右(ぐんじ ゆうすけ)

この度、サッカー3級インストラクターに認定されました郡司です。

これまで審判員としてサッカーに携わる中で、多くのインストラクターの方々から貴重なアドバイスをいただき、自分自身の成長につなげることができました。その経験から、今度は私がインストラクターとして、これまで培ってきた経験を皆さんにお伝えし、力になればと思います資格を取得しました。

今後は、審判員とインストラクターの両面から活動し、みなさんと一緒にサッカーをさらに盛り上げていければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

浅賀 達也(あさか たつや)

この度、サッカー3級インストラクターに認定されました浅賀達也です。

私がインストラクター資格の取得を目指したきっかけは、あるジュニアユースの大会で帯同審判を務めた時の出来事でした。ハーフタイムにトイレへ向かって歩いていた際、後ろから中学1年生の選手に声を掛けられ、「審判を目指している」と話してくれました。その年齢から審判を志す姿勢に驚くと同時に、こうした熱意ある子どもたちを指導できる存在になりたいと強く思ったことが、挑戦の原点です。

インストラクター研修では、評価基準が分からず苦勞する場面もありました。しかし、片桐さんに相談したところ、実際の試合を使って指導していただけることになり、ある高校の皆さまにもご協力いただきながら実戦形式で学ぶ機会を得ました。この経験が大きな自信につながりました。

今後は、現役審判員として若い世代の手本となれるよう努めるとともに、インストラクターとして人を育てる役割を果たしていきたいと考えています。



池田 朋代(いけだ ともよ)

この度、千葉県サッカー3級インストラクターに認定されました池田朋代と申します。

4級審判で市川市よりいろいろご指導していただき、千葉県で審判活動しているときもインストラクターのご指導を受けてサッカーの奥深さを知りました。そこで今度は角度を変えて指導する立場で学び、また発見していきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

佐藤 択哉(さとう たくや)

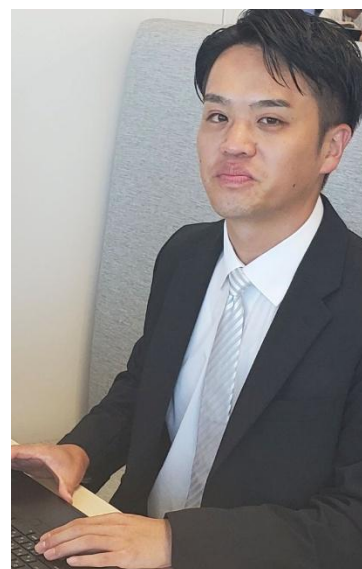
この度サッカー3級インストラクターに認定頂きました佐藤択哉と申します。

千葉県協会スタッフの皆様、一緒に受験した審判仲間の方々に、この場をお借りして感謝申し上げます。

私は初めて審判資格を取得してから15年弱になりますが、審判員としてのセンスはあまりなく、ひとえに周囲の方々に恵まれたおかげでここまで続けられたと思っています。これまで受けてきたご恩をお返すことと、センスをカバーするために続けてきた努力について伝えてまいりたいと思い、インストラクター試験を受験しました。

インストラクターとして、自分自身の判定や言動に対して常に根拠を持って説明できるよう、より一層努力するようになりました。

インストラクターとしてのアウトプットを通じて、自分自身のレフェリーのスキル向上に繋げるとともに、これから審判活動を始めた人や、始めたばかりでこれから上手になりたいと考えている人を後押しできるような存在を目指して活動してまいりたいです。会場でお会いした際など、お気軽にお声掛けください！



**おめでとうございます！
今後のご活躍を期待いたします！！**



2026 3級審判インストラクター養成講習会の進め方について

2026年度より各都道府県のサッカー協会ですtartする3級インストラクター養成講習会の進め方について、(公財)日本サッカー協会よりカリキュラムの内容を検討し、決定していく事の説明がありましたので、その資料を紹介します。
(公社)千葉県サッカー協会における養成講習会の詳細については、今後決定次第お知らせしていきます。

2026 3級審判インストラクター養成講習会の進め方

47FA-EC用

Japan Football Association

JFA



カリキュラム内容(案)

3級審判インストラクター養成講習会 カリキュラム内容

目的：2026年度より47FAですtartするカリキュラムの内容を検討、決定していく

	30 min	60 min	30 min	60 min	30 min	60 min	30 min	60 min	30 min	60 min	30 min	計13h15m
序章	ガイダンス①	ガイダンス②										30m
1章 サッカー理解			現代サッカー									1h
2章 審判員	オンライン① 90分	審判制度	目標と 重点項目									1h
3章 審判指導者	資質・心構え 指導サイクル	Recap										1h15m
4章 競技規則	競技規則 (競技の精神・歴史)											1h
5章 事象分析	オンライン② 90分	事象分析の 進め方	事象分析実践①	②	③	④						4h30m
6章 試合後のFBと評価	FBの観点	手引説明	試合映像 (clip)	試合分析 (フェイスブック含む)								3h
7章 求められる指導方法	指導実践 の進め方	オンライン①90分										15m
評価	修了テスト											45m

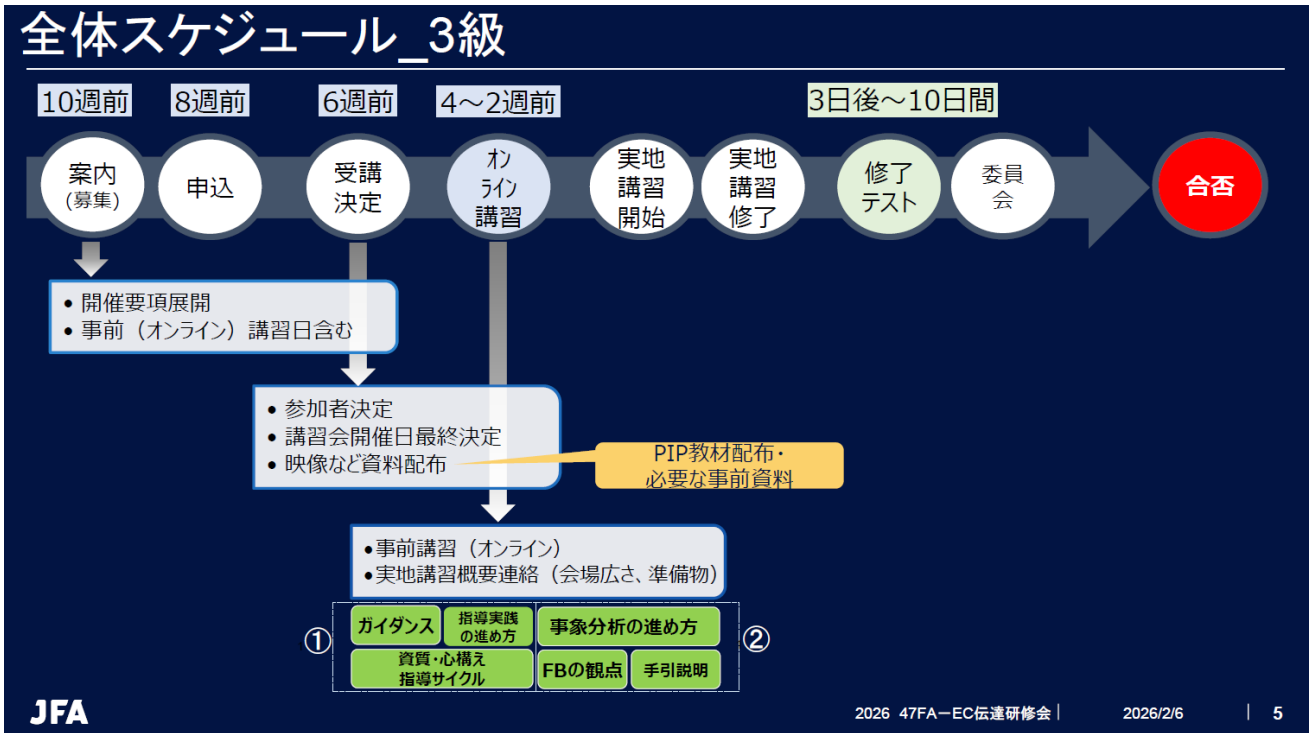
JFA

2026 47FA-EC伝達研修会 |

2026/2/6

| 3

1. 全体スケジュール



2. カリキュラム

2026 SI3養成講習

	実地講習 (6時間15分)	オンライン講習 (90分×2)	eラーニング (2時間45分)	映像課題 (30分)	評価 (45分)		
序章	ガイダンス①	ガイダンス②				30分	
1章 サッカー理解			現代サッカー			1時間	
2章 審判員		online①	審判制度	目標と重点項目		1時間	
3章 審判指導者	資質・心構え指導サイクル		online① recap			1時間15分	
4章 競技規則			競技規則 (競技規則の精神・歴史)			1時間	
5章 事象分析	事象分析の進め方	online②	事象分析実践①	②	③	④	4時間30分
6章 試合後のFBと評価	FBの観点	手引説明	試合クリップ		アセスメント評価	3時間	
7章 求められる指導方法	指導実践の進め方					15分	
評価					修了テスト(45)	45分	
						計13時間15分	

JFA | 2026 47FA-EC伝達研修会 | 2026/2/6 | 7

3. 各科目の進め方

序章⇒1章～7章⇒評価(終了テスト)まで合計で13時間15分をかけて、3級インストラクターを養成していきます。詳細は決定次第お知らせします。

インストラクターの魅力 ②

県内で活躍しているインストラクターにスポットを当て、その魅力を掘り下げて、より多くの審判員にインストラクターについて知っていただき、今後インストラクターを目指す方々の参考になる記事を書いています。第2回目は、前回と同じ日ごろからお世話になっているレジェンドインストラクターの齊藤さんに加えて、インストラクター1年目の佐々木さんにもインタビューをしました。

- ①：氏名(ふりがな)敬称略
- ②：インストラクター歴とその前の経歴
- ③：審判指導する上で心掛けていること、ポイントなどは?
- ④：これだから辞められないインストラクターの魅力とは?(嬉しかった事、感動した事など)
- ⑤：逆につらかった事は?(悲しかった事、がっかりした事など)
- ⑥：インストラクターを目指している方へのメッセージやアドバイス



- ①：齊藤 仁(さいとう ひとし)
- ②：プレーヤーとしては大学、社会人と40歳くらいまでは蹴っていた記憶です(もう遙か、になります)。会社のチームが東京都江東区連盟に登録し活動していたため、ご多分に漏れず登録のために4級資格を取った(取らされた)ような。その連盟に1級審判員がおられ、その背中を追い、また支援指導をいただき仲間に入れてもらい注力するようになりました。取組みが開始された都の強化審判員育成事業に参加させてもらい、確か30歳の時に2級に昇級し、34歳で1級チャレンジ(失敗でした)。その後、都と関東の委員会活動のお手伝いを、そして指導者制度の整備の中で迷い込み、JFAの2008年のイントレ活動への推薦、考査を受けて1級資格を得て、2023年まで活動し、千葉県に移籍をさせていただき、現在は3級インストラクターとして仲間に入れてもらっています。
- ③：主審を中心とした審判チームが、自分たちで要点となる事象や手掛かりとなる切り口を見つけ、提示できるような見方、それを気付いてもらえるような言い方・質問が出せるように、と思っています。

こちらからの指摘、断定ではなく、審判員側からの分析・考察・論理的組み立て・言語化(表現し理解できる)のような自主の流れを作りたいとは思っています。どうでしょう、想いだけは、になっていないことを……。

- ④：思いを共有してもらえたと感じることも、また規則に則り、選手・チームが自分たちのサッカーを展開していく流れを保障していってくれる運営に立ち会っていると感ぜられる時間は嬉しく、楽しいと感じます。試合後のフィードバックで、そうだったのかとか、自分の判定をまた課題を納得できたような表情が見えた時は喜びです。フィードバックを終え、そこから続く日常のそしてサッカー・審判談義も魅力の一つだと思っています。
- ⑤：審判活動から抜けていく仲間の情報は理由はそれぞれあるとは言え、つらいというより寂しいという感です。帰路でもっと判ってもらい易くとか、違う流れでの話の組み上げとか、無かったかなと振り返ることは毎回ですが。
- ⑥：経験/習得したこと、体得したことを基盤として情報更新に努め、現役審判員と共にまた指導者仲間として、難しさと喜びを感じ、サッカーを楽しみ、その幅を広めましょう



- ① : 佐々木 大輔(ささき たいすけ)
- ② : 順天堂大学時代にPRの 中村 太 氏と一緒にセンターバックのコンビを組んでいたのが密かな自慢です！2023年シーズンから2級審判員として活動し、3年が経過しました。2024年の夏の飲み会の席で、まんまとおだてられて良い気分になってしまい、インストラクターの試験を受けることになり、2025年シーズンから活動を始めました。
- ③ : 多くの皆さんが、審判をしていると失敗したりうまくいかなかったりして落ち込むことが多い気がします。ですので、次のゲームに前向きな気持ちで取り組めるような振り返りをしたり、アセスメントレポートを作成したりできるよう心がけています。
- ④ : 元々自分自身の審判の知識や技術の向上のために始めたので、審判員の皆さんに自分の考えを言語化して伝えることで、自身の頭の中が整理され、自身の審判活動に活かされていると感じます。また、インストラクターの資格を取得すると、いろいろな方のアセスメントレポートを読むことができるようになるので、とても勉強になっています。まだまだへたくそですが、「前よりうまくなったぞ！」とポジティブにとらえています(笑)。あとは、自身が担当した審判員の方にお伝えしたことを、次の試合を見たときに改善されていたり意識して取り組んでいたりする姿を見ると嬉しく感じます。
- ⑤ : 担当した審判員の方々に「〇〇した方がよかった(〇〇しなければならなかった)」と自分の口で伝えていながら、自身が審判をやって同じことをやってしまい、「これって前に自分で言っていたことじゃん！」と自分につっこんだことです(笑)。「冷静に考えればできることが、試合になるとできない」ことがみなさんもありませんか？
- ⑥ : 「自分がまだ分かっていないのに、他人に教えることなんてできないよ！」と思って、インストラクターの資格を取得することをためらっている方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか？私もその一人でした。でも、先輩方から手厚いサポートを受けたり、1試合1試合を大切に取り組み続けてきたりしたことで、アセッサーとしての知識や技能なども高まってきたように感じます。皆さんもぜひ、勇気を出してはじめての一步を踏みだしていただき、多くの仲間が増えることを願っています！



《2026年度4級審判員新規取得講習会のお知らせ（サッカー）》

(公社)千葉県サッカー協会主催の講習会を掲載します。

この講習会は、現地に集合して行う対面式の講習会です。詳しくは審判委員会ホームページのWeb申請と講習会案内をご覧ください。

お申込みはすべてKICK OFF(JFAのページ)から行ってください。

なお、駐車場は有りますが、千葉県総合スポーツセンターの行事によっては駐車ができない場合があります。できるだけ公共交通機関を利用してご来場ください。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集定員	駐車場	講習会費
5月10日(日)	9:30 ～10:00	10:00 ～16:00	講義	スポーツ 科学セン ター 第1 研修室	千葉都市モノレール(2号線)スポーツセンター駅	150人	有り	一般 ¥7,200 ユース ¥1,550
5月17日(日)	9:30 ～10:00	10:00 ～16:00						
5月24日(日)	9:30 ～10:00	10:00 ～16:00						
6月7日(日)	9:30 ～10:00	10:00 ～16:00						
6月21日(日)	9:30 ～10:00	10:00 ～16:00						
7月25日(土)	9:30 ～10:00	10:00 ～16:00						

《2026年度4級審判新規取得&各種講習会のお知らせ（フットサル）》

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、インターネットをご利用頂ける方は、『Kickoff』でご確認下さい。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
6/14 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	講義	スポーツ科学 センター3, 4, 研修室	[千葉都市 モノレール] スポーツセ ンター駅	50人	有り	一般 8,300円 ユース 2,650円
3/7(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	講義	スポーツ科学 センター3, 4, 研修室	[千葉都市 モノレール] スポーツセ ンター駅	50人	有り	一般 8,300円 ユース 2,650円
3/28 (日)	9:30～ 10:00	10:00～ 17:00	講義	スポーツ科学 センター3, 4 研修室	[千葉都市 モノレール] スポーツセ ンター駅	50人	有り	一般 8,300円 ユース 2,650円

フットサル3級審判昇級試験、フットサル2級予備試験(10月開催分)

※詳細は決定次第、Webの方にアップします。

登録部からのお知らせ

☆ 普及部から登録部に！ ☆

2026年度より、普及部は名称を「登録部」に変更して、主に、審判員資格の新規取得講習会/資格更新講習会、3級審判員昇級審査の企画・開催、審判員活動休止や復活の手続き、復活講習会の実施等を担当いたします。

各講習会については、誰もが参加しやすく、かつ運営に関わるスタッフの皆さんの負担が少ない講習会を目指して、日本協会から提供される教材やカリキュラムを積極的に活用した手法を導入していきたいと考えております。

主な活動内容

- 4級審判員新規取得講習会（web開催を計画→推進中）
- 2級～4級更新講習会
- 3級審判員昇級審査(4月・10月)
- 休止、復活手続き(復活講習会)

これからも、審判員としてサッカーに関わりたい！という仲間を増やし、各郡市で活躍されている審判員の方々のステップアップをサポートしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

登録部長 安藤

割当部からのお知らせ

☆ 審判割り当てを受けてみませんか？ ☆

現在3級を取得されて審判活動をされている方で、「審判が楽しい、もっとうまくなりたい！」でも、子供が成長して活動場所をどうしよう？などとお困りの方はいらっしゃいませんか？(公社)千葉県サッカー協会審判委員会では、選手により良いゲーム環境を提供するために、派遣審判活動にご協力いただける方を探しています。

最初は自信がなくても、大丈夫！3種(中学生)の副審など、無理のない試合から始めて経験を積んでいただき、審判スキルや試合レベルをアップしてみませんか？やる気のある方には、どんどん割当をしていきます。

千葉県内では多くの試合に審判を派遣しており、派遣先では様々な審判員とコミュニケーションが取れ、今後の活動に生かれます。また、研修会や勉強会も随時行っていますので、心配する事はありません。

詳細に関しては、割当部の曾我(fs068913@yahoo.co.jp または、070-5547-5132)までご連絡ください。

是非、ご連絡お待ちしております！

☆ 派遣審判員の皆さまにお願い ☆

2025年度も各種別で多くの試合が予定されており、割当部としても迅速で的確な審判員の派遣をしたいと思っています。ついては、以下に留意頂きスムーズな進行にご協力をお願いします。

- ① 可能な限り、月初迄に翌月の可能日を入力して下さい。(平日可能日があれば、それも入力願います)
- ② 可能日に変更が生じた場合は、各自では修正できませんので、**その都度必ず変更内容を割当部の曾我、CCに長谷川と清水を入れて連絡**して下さい。

曾我文宏：fs068913@yahoo.co.jp

清水賢一郎：shimizu@cfarc.jp

長谷川鉄哉：cfa_hasegawa@yahoo.co.jp

- ③ 割当を依頼されたら、**3日以内**に速やかに**諾否を入力**して下さい。(普段のメールチェックをこまめにお願いします。)
- ④ KICKOFFから最終確認依頼メールが届いたら、必ず割当内容を再確認して下さい
- ⑤ 主審を担当した場合、必ず審判報告書をKICKOFFへの登録により提出して下さい。
- ⑥ その他の詳細、キャンセルや直前の変更、緊急事態が発生した時などについては、毎月KICKOFFから配信される可能日入力依頼のメールを参照してください。

よろしくお願いいたします。

割当部長 曾我

総務部からのお知らせ

☆ コンプライアンスについて ☆

コンプライアンスとは？

「法令順守と、その組織の倫理に従った行動」とをとるという事で、審判活動で言えば、例えば集合(マッチミーティング)の15分くらい前には余裕をもって到着するなど遅刻は厳禁ですし、試合中に選手やコーチ等に対する言動や態度についても責任をもった行動が要求されます。また、審判員でしか知りえない事を公にする事も禁じられています。

私たちは試合があるからこそ審判が出来るのであって、「審判してやっている！」というような高飛車な態度や、選手等をリスペクトしない事は、コンプライアンス上よろしくない行動です。

特にSNS等の情報発信に注意！

県協会からの割当情報や担当する試合の情報、試合内容に関する事など「誰がどの審判をしていたか」などは絶対に載せない事、試合内容の評価やレフェリングの感想等もどこで、どう拡散するか？わからないので、写真なども含めて絶対に載せないでください。

個人的に依頼された試合などは個人の判断ですが、その時の写真などは著作権や写っている選手等の肖像権にも注意が必要です。必ず掲載して良いか？主催者や本人に確認してください。

個人情報について

割当部からの確定した試合の割当表には、緊急用のために審判員個人や主催者の携帯番号が入っています。例えば、交通渋滞等でマッチミーティングに遅れそうな時など、緊急に連絡が必要な時用ですので、取扱には十分注意を！紛失も同様です。割り当て終了後は確実にシュレッター等で処分してください。

☆ レフェリーニュースを活用しましょう ☆

2026年度もレフェリーニュース(年4回)はWebでの配信のみとなります

千葉県サッカー協会のHP⇒「審判」⇒「Data Box」⇒「Referee News」に掲載し、過去の記事(2024年度以前)も一覧で掲載し閲覧可能です。

審判が楽しい！真剣に取り組んでみよう！と思える内容を多く載せ、「地域でがんばっています」や「ユース審判員紹介」など、帯同審判員から派遣審判員にトライする方や、若手審判員が多く出てくる事を期待しています。

「地域で頑張っている」紹介したい審判員や審判員として楽しいコミュニティ等があればご紹介ください。総務部員が取材に行きレフェリーニュースに掲載します。

また、「こんな内容が欲しい！」などご意見がありましたら総務部のメールcfarc.somu@gmail.comにお願いします。

よろしくお願いたします。
総務部長 長谷川



2026年度審判員関係者対象の傷害保険について(お知らせ)

(公社)千葉県サッカー協会審判委員会では、審判活動を行っていただく皆様の、活動中におけるケガや熱中症などの方が一に備えた保険を2025年度も契約しています。2023年度からは保険適用される活動を明確にするため、(公社)千葉県サッカー協会(以下『県協会』という)が主催(開催)する各種大会の全ての試合ではなく、基本的には県協会から依頼を受けた活動を対象とし、詳細は以下となります。事故があった際には、下記の説明をご確認の上、担当者までご連絡ください。

保険適用がなされる活動例

- 県協会審判委員会から派遣依頼を受けた審判活動
- 県協会審判委員会から派遣依頼を受けたアセッサーおよびインストラクター活動
- 県協会が主催する審判資格新規取得および更新講習会参加
- 県協会審判委員会が開催する昇級試験および昇級予備試験参加
- 県協会審判委員会が開催する各種研修会での活動(実技・講義共。スタッフ含む)
- 県協会審判委員会の各種会議および活動参加
- 県協会審判委員会から依頼を受けた審判アテンド等の業務
- 県協会審判委員会より選出を受けた者が、県協会から出席依頼された各種会議参加

保険適用されない活動例

- × 県協会が主催(開催)する各種大会でも、県協会審判委員会より派遣依頼を受けたものではない審判活動
- × 県内各地域協会や、クラブが主催する各種大会や練習試合での、県協会審判委員会より派遣依頼を受けたものではない審判活動
- × 県内各地域協会及び種別が開催する審判資格新規取得および更新講習会参加

保険が適用される症例等

- 活動のための往復途上のけが・特定疾病
- 審判中のけが・特定疾病
- 上記のけが・特定疾病により入院した
(特定疾病・・・心筋梗塞等の急性心疾患、急性脳疾患、急性呼吸器疾患、細菌性食中毒、熱中症、低体温症、脱水症)

※宿泊を伴う活動については、特定疾病は補償の対象外となります。

次のような場合等は、保険が適用されません。

- × 本人の故意または重大な過失によるもの
 - × 本人の自殺行為、犯罪行為または闘争行為によるもの
 - × 本人の麻薬、あへん、大麻、覚せい剤またはシンナー等の使用によるもの
 - × 本人が無資格運転中、または酒酔い運転中の事故
 - × 他覚症状のない本人の感染症
 - × 頸部症候群(むち打ち症)及び腰痛で自覚症状しかないもの
 - × 本人の妊娠、出産または早産
 - × 戦争その他の変乱、放射能汚染等
 - × 行事開催日の直前12か月以内に医師の治療を受け、または治療のために医師の処方に基づく服薬をしていた疾病と医学的に因果関係のある急性心疾患・急性呼吸器疾患
- ※宿泊を伴う活動については、上記のほか地震・噴火またはこれらによる津波を原因とする事故や、脳疾患・疾病または心神喪失に起因する事故等についても補償の対象外となります。

《別表1・通常の活動の保険金額》

補償種別		保険金額 (最高)	
災害死亡補償	(傷害)	500万円	
	(疾病)	500万円	
後遺障害補償	(傷害)	500万円	
	(疾病)	500万円	
療養補償	入院日額	(傷害)	3,000円
		(疾病)	3,000円
	手術(傷害・疾病)		手術の種類により、各入院日額の10倍、20倍、40倍
	通院日額	(傷害)	2,000円
(疾病)		2,000円	

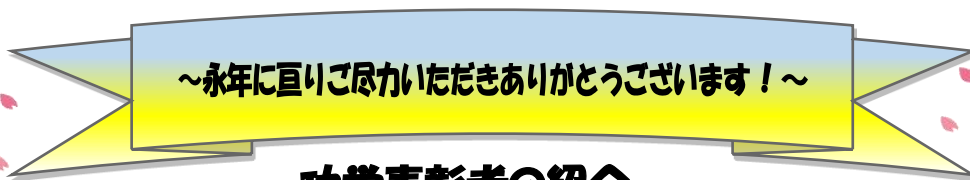
《別表2・宿泊を伴う場合の保険金額》

保障項目	保険金額 (最高)
死亡・ 後遺障害	1,000万円
入院日額	5,000円
通院日額	3,000円
賠償責任 携行品損害 救援者費用 留守宅損害	補償しない



本件に関するお問い合わせ先

審判委員会 総務部 保険担当 中山達良
 ☎ 090-3475-8617
 E-mail nakayama73wave@yahoo.co.jp



～永年に亘りご尽力いただきありがとうございます！～

功労表彰者の紹介



今後も増々のご活躍を祈念いたします！！

《30年表彰者》(敬称略・順不動)

樋口 彰、大川 直也
 五十嵐 泰之、菊原 雅巳
 実方 洋一、中平 昌則

2026年5月9日(土)に表彰式を予定しています。
 場所：千葉市生涯学習センター特別会議室を予定
 時間：審判委員会全体会議の後に17時半頃からの予定
 場所と時間が正式に決まりましたら表彰者に連絡します。
 ※10年表彰者には後ほど「記念トスコイン」を送付します。

《20年表彰者》

本年度からKICKOFFシステムより
 対象の方を抽出し表彰の案内を送付
 します。

◆◆ レフェリースクールを開催しました ◆◆

審判委員会・育成部
柳澤 健太

○開催期間2026年1月17日～2月11日(毎週土曜、日曜日)○

1月17日～2月11日にかけて毎週土日開催で研修会を実施いたしました。宿泊研修、実技⇒座学の形式にて充実した研修会となりました。



○研修対象者○

研修対象者はカテゴリーB・Cの皆様を中心として、募集させていただきました。過去最大のご応募をいただき、一部日程調整にご協力いただいた皆様に御礼を申し上げます。指導者は3級インストラクターの方々を中心に割り当てをし、指導者のアドバイザーも割り当てを行いました。

○研修全体の流れ○

土曜日は県民大会、日曜日は一種選手権の試合を利用させていただき、実践研修を行いました。試合終了後にフィードバックを実施、宿舍会議室にて試合映像を活用した座学を実施。普段ピッチ外から見ることでできない実際の映像を確認しながら意見交換を行い知識の蓄積と技術向上を合わせた研修会となりました。

○夜間・翌日の研修○

夕食後も自由時間としながら映像や資料を用いディスカッションと活発な意見交換を行い、技術向上を目指しました。翌日は朝食後に各会場へ移動し一種選手権を実施。その後フィードバックを行いました。2日間にわたる集中開催で有意義な時間となりました。



○参加者の声○

内浜 一也さん

昨年末のDカテ研修に続きBCカテ研修も計6日参加させていただきました。自分のレフェリングに対するアドバイスを受けるだけでなく座学でじっくり映像確認できるだけでも通常やれない機会ですが、国際審判員やJ担当の方から講義をいただく貴重な機会もあり、とにかく毎回いろんな気づきや学びがあり過ぎて吸収しきれないくらい短期間で急激に自分の感覚が研ぎ澄まされていることを実感しました。また旧知の方との再会はもちろん新たな仲間がたくさん増えたこともすごく嬉しかったです。

研修費と言いながらほぼ宿泊費なので実質プライスレス。冬季にめっぽう弱い私には厳しい寒さを凌ぐのは大変でしたが、レフェリング向上を目指す方にはスケジュール調整してぜひ参加してくださいと自信持ってオススメします。事前準備から当日の運営まで本当に大変だったと思います。貴重な機会をいただき感謝します。

ありがとうございました！

天野 喜章さん

まずは、研修を企画、開催いただきました育成部の皆様に感謝申し上げます。

私は初日に主審を担当させていただきました。その日の夜に研修に参加したレプリーと映像を見ながらレフェリングについてアドバイスをいただきました。自己分析とのギャップを確認出来たこと、レフェリングについて審判仲間と深く語れた事がとても有意義で、楽しい研修でした。

是非また参加したいです。

木村 康太さん

今回、初めて宿泊研修と1種の試合の審判活動に携わりました。ゲストとして来ていただいた岡部拓人さんから、ゲームエンパシーの話聞いた時、自分の課題と向き合うことができたと思っています。「やり続けることでしか、前に進めない」、その言葉を支えにこれからも審判としてサッカーを楽しみ、選手とゲームを創っていきたいです。

参加者感想一覧
<https://x.gd/QbRot>



参加者アンケート一覧
<https://x.gd/eiRHK>



アンケートの結果、回答者全員が「また来年も参加したい」と回答してくださいました！更にいい研修会を開催できるようにしてまいります！ご参加ありがとうございました！

※次年度はリーグのカレンダーも変わる為、ゲスト講師が来るかは未定です



JFA 第49回全日本 U-12 サッカー選手権大会

2025/12/26(金)～2025/12/29(月)

鹿児島県で開催された「JFA第49回全日本U-12サッカー選手権大会」の審判に千葉県からユース審判員の川島さんが参加し、大会の様子などをレポートしていただきました。

☆川島 悠人☆

去年12月26日から29日に鹿児島で行われた、JFA第49回全日本U-12サッカー選手権大会に参加した川島悠人です。

本研修では、「サッカーの四局面と球際を理解し、攻守の切り替え時に起こりやすい事象を予測してゲームマネジメントを行うこと」を目標に臨みました。また、適切なアドバンテージを用いながら、選手が「安心・安全」に100%の力を発揮できるよう、「公平・公正」な判定を行うことを意識しました。個人的には、決勝の割当てをいただけるよう、これまで取り組んできたことをすべて出し切ることを目標としました。

夜の研修では、過去の全小のデータを基に、どのようなプレーや事象が起こりやすいのかを数字から分析し、次の試合の準備を行いました。また、鹿児島出身の福島孝一郎さんにお越しいたいただき、これまでの経験や今後に向けた心構えについてお話をしていただきました。その言葉一つひとつが大きな刺激となり、自身の目標を改めて明確にする機会となりました。

仲間との交流も大きな学びとなりました。試合映像を活用して分析を行い、主審や仲間と振り返ることでサッカー理解とレフェリングの質を高めることができました。32名の仲間は良きライバルでもあり、再び同じ舞台上で審判ができるよう成長したいと強く感じました。

決勝は担当することができませんでしたが、多くの学びを得ることができました。

また、この研修のおかげで『NEXT GENERATION MATCH 2026 U-18Jリーグ選抜 vs. 日本高校サッカー選抜』に参加させていただけることが決まり、貴重な体験をさせていただきました。

最後に、今大会に推薦していただいた千葉県、関東の委員会の皆様、また今大会の運営に携わっていただいた皆様、JFA、地域指導者の皆様、本当にありがとうございました。

↓大会に集まった審判チーム



JFA第49回全日本U-12サッカー選手権大会のページはこちら
https://www.jfa.jp/match/japan_u12_football_championship_2025/

U-18 Jリーグ選抜 vs. 日本高校サッカー選抜

～NEXT GENERATION MATCH 2026の時の川島さん～



『NEXT GENERATION MATCH 2026 U-18Jリーグ選抜vs日本高校サッカー選抜』の公式ホームページはこちら

<https://www.jleague.jp/special/nextgenerationmatch/2026/member.html>

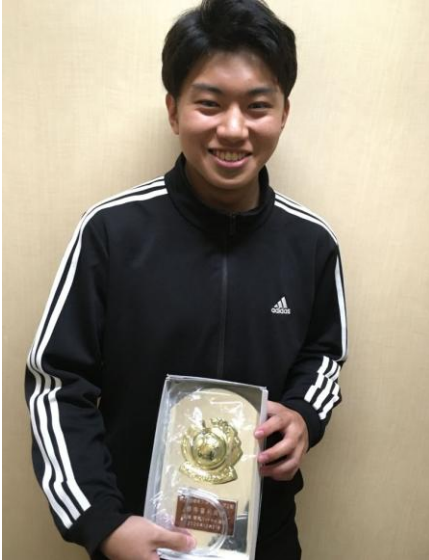
ハイライト動画はこちら↓

<https://www.bing.com/videos/riverview/relatedvideo?q=next+generation+match+2026&mid=7BF8DA770EDF7D03C53F7BF8DA770EDF7D03C53F&FORM=VIRE>

☆フットサル関東2部リーグ表彰式☆

2025年12月21日、アイルアリーナウイングハット春日部(埼玉県)にてフットサル関東2部リーグ最終節及び表彰式が行われ、千葉県所属の金指氏が2部リーグの優秀審判員に選出されました。

☆フットサル2級審判員 金指 友翔☆



この度、第27回関東フットサルリーグ2部 優秀審判員賞をいただきました、金指友翔と申します。千葉県サッカー協会 審判委員会 フットサル・ビーチサッカー部会からご推薦をいただき、昨年6月にフットサル2級審判員に昇級してから約半年という期間で、歴史ある関東 フットサルリーグにおいてこのような栄誉ある賞を受賞できたことを、大変光栄に思っております。

昇級以後は、関東2部リーグを中心に、関東大学リーグ、関東女子リーグ、関東1部リーグ での第2審判、Fリーグでの副審を担当させていただき、さらに今年8月にはJFAバーモントカップ 第35回全日本U-12フットサル選手権大会決勝主審など、昇級以前には考えられなかった多くの舞台に立たせていただき、貴重な経験を積むことができました。

このように多くの経験を重ねる機会をいただけたこと、そして今回の受賞は、決して自分一人の力によるものではなく、周囲の皆様の温

かいご支援とご指導があってこそその結果であると強く感じています。昇級後にさまざまな研修の場へ送り出していただき、加えて担当試合について丁寧に振り返り、的確なアドバイスをくださった、フットサル1級審判インストラクターの櫻田雅裕 様、また、木村部長をはじめとするフットサル・ビーチサッカー部会の皆様がいなければ、今回の受賞は成し得なかったと思います。

お世話になっている皆様への感謝の気持ちを忘れず、2026シーズンもさらなる研鑽と努力 を重ね、より高いステージで笛を吹ける審判員を目指してまいります。2025シーズンも大変お世話になり、誠にありがとうございました。



☆千葉・九州合同フットサル審判員強化研修会☆



2025年9月27・28日に千葉県内各フットサル施設にて今年度も千葉・九州合同フットサル審判員強化研修会を行いました。千葉県からは金指氏、九州地域からは大湾氏、崎山氏が参加され、事前事後WEB講義や千葉県フットサルリーグを用いて2日間の研修を完了いたしました。若手の方々に向けた研修や各種研修など多くの取り組みを目指しております。

写真は左から千葉金指氏(全国バーモント決勝主審)、九州大湾氏(全国選抜決勝主審)、九州崎山氏(全国大学決勝主審)



JFA 第20回全日本ビーチサッカー大会

2025/9/19(金)～2025/9/21(日)

☆全国ビーチサッカー審判員研修会☆

2025年9月18日～21日、兵庫県/明石市大蔵海岸にて『全国ビーチサッカー審判員研修会』がJFA 第20回全日本ビーチサッカー大会を用いて行われました。受講完了のワッペン(今年は金色)を頂きました。事前WEB研修は8/28、事後WEB研修は10/1に行われました。

審判員参加者のうち研修生は各地域から1名、割り当てにて10名ほどの総勢20名ほど、指導者はFIFAビーチサッカーインストラクターの櫻田氏、関東より金子氏と篠原氏、東海からは森氏にご参加いただきました。

~~~~~

☆ビーチサッカー国際審判員 松田卓磨☆

凸凹な砂の上とは思えない見事なボールタッチ。オーバーヘッドキックやシザースキックの応酬。ボールが一度もピッチに落ちることなく、GKから始まったダイレクトパスの連続。そのフィナーレは華麗なボレーシュート。GKが自陣ペナルティーエリアからリフティングで相手ハーフまで侵入し、そのまま豪快にシュート。それを相手GKが横っ飛びで片手を伸ばしてナイスセーブ！

こんなアクロバティックなプレーの連続が、わずか36分間の1試合に詰まっている。

それこそが、ビーチサッカーの最大の魅力ではないでしょうか。

サッカーでいえば“天皇杯”にあたる「JFA 全日本ビーチサッカー大会」。

2025年の第20回大会決勝に進出したのは、昨年と同じく関東勢の2チーム、東京ヴェルディBSとレーヴェ横浜でした。2017年の第12回大会から続いた東京ヴェルディBSの連覇を、昨年初優勝で阻んだのがレーヴェ横浜。果たしてレーヴェ横浜の2連覇か、東京ヴェルディBSの王座奪還か。誰もがワクワクするこの一戦に、私は主審として関わらせていただきました。

ビーチサッカーでは延長戦やPK戦になることは珍しいのですが、この決勝は延長を含めた39分間で3-3。最後はPK戦で決着という、最後の瞬間まで目が離せない試合でした。そんな熱戦のピッチに、他の4人の審判チームメイトと共に立てたことは、この上ない喜びです。本当に、素晴らしい試合でした！！

JFATV (JFA公式YouTubeチャンネル)でフルマッチが公開されていますので、ぜひご覧ください。もうこれで、あなたもビーチサッカーの虜です。

※決勝戦の映像はこちら※

[【LIVE】決勝 東京ヴェルディBS vs レーヴェ横浜 | JFA 第20回全日本ビーチサッカー大会](#)

おまけ情報ですが、この大会の2週間後に沖縄で行われた日本代表 vs ポルトガル代表の国際親善試合も、同じチャンネルで視聴できます。ハイライトだけでも十分楽しめます。特に10月5日の第2戦は必見です！



さて、話を全日本大会の決勝に戻します。

選手やチーム役員の皆さんが「ありがとうございました！」と互いに健闘を称え、観客の皆さんが「良い試合だった！」と感じてくださる。それは、試合に関わった者としてこの上ない幸せです。とはいえ、タイトルの懸かる関東のライバル対決を「良い試合だった！」で終わらせることは、決して簡単ではありません。チームや運営の皆様の協力を得ながら、審判チーム一丸となって試合を作り上げました。

一緒に映像を見ながらであれば、さらに多くのことをお話できますが、この紙面でお伝えしたいのは一つ。私が笛を持つとき、常に意識しているのは「この試合に関わる多くの人がハッピーか？」ということです。もちろん、競技規則を適切に施行することが主審の任務ですが、それだけで全てがうまくいくわけではありません。もしそれだけで十分なら、いつかは機械でも代わりが務まってしまうでしょう。

私が大切にしているのは、"happy??" という問いを常に心に持つこと。



その「happinessの輪」が試合の中で広がっていけば、きっと「良い試合だった！」につながると信じています。

つまり「私は、審判員！！」ではなく、その競技、その試合に関わる人々の幸せを考える。これが、私がいつも大切にしていることです。

「もうお前は何を言っているのか分からん！」と思ったあなた、ぜひ全日本ビーチサッカー大会の決勝を一緒に見ながら、じっくり語り合いたい。

私は千葉で生まれ、千葉のチームでサッカーをプレーし、千葉で審判資格を取得しました。千葉の皆さんに審判のことをたくさん教わり、今も千葉に住み、活動しています。

毎週のように千葉の審判仲間とトレーニングを重ね、競技規則やレフェリングを学びながら、サッカー、フットサル、ビーチサッカーの審判活動

を行っています。

決して遠い存在ではありませんので、ぜひどこかで見かけたら、お気軽に声をかけてください。この紙面の最後にアドレスが掲載されている、総務部宛にメールでも結構です。

ビーチサッカー審判員が千葉にいる。これも何かのご縁です。

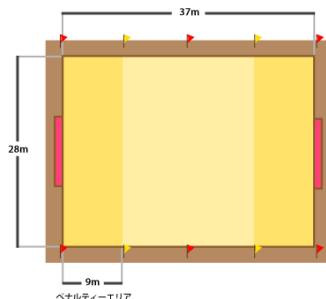
まずは、先ほど紹介した試合映像をぜひご覧ください(ハイライトだけでもOKです)。そして一緒にビーチサッカーを楽しみ、happyになりましょう！

☆ようこそ、ビーチサッカーの世界へ！！☆

JFA 第20回全日本ビーチサッカー大会の詳細はこちら



[JFA 第20回全日本ビーチサッカー大会 TOP](#) | [JFA](#) | [公益財団法人日本サッカー協会](#)



## 広告主さま募集しています

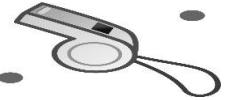
- 千葉県内約1万名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
  - 募集枠は、1枠(1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。
  - この枠が1枠の大きさの目安です。
- 詳細、お申込みは(公社)千葉県サッカー協会事務局  
(TEL [043-310-4888](tel:043-310-4888))にご連絡をお願いいたします。



## 編集後記



- 2026年シーズンがいよいよ始まります。各々が目指す審判の理想像があると思います。
- 審判委員会の体制も色々と変化があります。選手ファーストと言われますが、陰の立役者として審判員がいてサッカー・フットサルが成り立ちます。
- まずは、自分たちが楽しむことをモットーに審判員や指導者の活動が出来たら良いですね。
- 2026年も、「楽しく、けが無く」活動していきましょう。(Taka)



|                                                                                                     |                                                                                                                                                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>[レフェリーニュース編集者]</p> <p>長谷川 鉄哉</p> <p>高野 祐介</p> <p>金子 秀之</p> <p>田口 雄一</p> <p>長田 晃</p> <p>中山 達良</p> | <p>E-mail : <a href="mailto:cfarc.somu@gmail.com">cfarc.somu@gmail.com</a></p>        |
| <p>公益社団法人 千葉県サッカー協会審判委員会</p>                                                                        | <p><a href="https://chiba-fa.gr.jp/13judge/">https://chiba-fa.gr.jp/13judge/</a></p>  |

# Facebookもチェック



[千葉県サッカー協会 審判委員会\(発信専用\) - ホーム | Facebook](#)

<https://www.facebook.com/ChibaFA.rc>